



廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

7月号 (No.11)

令和7年

7月9日(水)

被爆体験伝承者の講話

7月1日(火)に、平和学習の一環として講話を聴きました。事前に、講師の井上つぐみさんの動画(昨年、広テレの「テレビ派」で特集されたもの)と、井上さんが伝承する被爆体験者の川本省三さんの生前の活動を紹介する動画を見ていたので、講話の内容も聞きやすかったのではないのでしょうか。

生徒の皆さんの感想を読ませてもらいました。自分のことに置き換えて考えている生徒や、今の生活(衣食住)に改めて感謝する生徒などがいて、自分の頭で理解し、考えている生徒が多いことに安心しました。生徒の感想をいくつか紹介します。

今まで自分は教科書、ネットのわずかな戦争の情報しか聞いたことがなかったです。井上つぐみさんの話を聞き、戦争の悲しさや辛さを知ることができました。ご飯の代わりに食べる石ころ、新聞紙、そんなものおいしくないし、食べたくないと思います。それでも争って食べるほどうえているのだと思いました。まだ幼い子供でさえ生きるために必死で、今ある当たり前をより深く感謝し、かみしめたいと思いました。人々を大事にし、自分も大事にしたいです。それまで当たり前のようにいた家族、友人もとつぜんいなくなるかもしれない、ある日が最後になり後悔しないよう過ごす日々を大事にし、感謝したいです。川本さんもこんな日々をしたくなかったし、思い出したくもなかったはずです。それでも戦争の辛さを伝え平和の尊さを広めてくださったおかげで日々や人々に感謝ができました。川本さん、井上さんの思いをむだにせず、これから生きていこうと思います。本日はわざわざ佐伯中に来てお話してくださりありがとうございます。(2年生)



井上つぐみさんの講話を聞いて、最初に思ったのは、話しているときの笑顔がすてきだと思いました。今日のお話を聞いて戦争は残酷で恐ろしいものだと思います、それ以上にこの歴史が若者の記憶から忘れられてしまうことが怖いと思いました。井上さんの思いをとぎさないためにも自分たちにできることを考えて行動していきたいと思いました。(1年生)



私は広島生まれのため、戦争について話を聞くことも多くありますが、あまり理解できておらず、大変だったんだな、で終わってしまいます。ですが、今日、井上さんの話を聞いて、自らが体験したことではないものの、川本さんから受け継いだ話をもとにした講話を聞き、被爆に対しての興味を持ちました。また、原爆についてだけでなく、井上さんのような被爆体験伝承者に対しても魅力を感じました。とても話が聞きやすく、どれほど辛かったのか、いかに大変だったのかが分かりました。さらに、講話の中で最後の方でしたが、自分や周りの人を大切にするということがとても印象に残りました。被爆したとき自分や家族のことで精一杯だけど、戦争のない今の日本では、自分はもちろん、友達や家族のことも大切にしていきたいです。本日はとても有意義な時間をありがとうございました。（2年生）



今日は被爆体験の伝承をしに佐伯中学校へわざわざ話しに来てくださり、ありがとうございました。井上さんが今日話してくれたことは、私にとって、とても貴重な体験になりました。原爆が落とされた事実だけでなく、被爆者の方たちが原爆投下後どんな生活を送ったのか、どんな思いをしたのかが、話を聞いて情景が浮かんできました。川本さんの見たこと、思ったことが、私たちにとても伝わりました。原爆が投下され、家族が亡くなり、私は生きていたら、自分はどう表していいかわからないほど悲しくて、生きる気力もなくなるなと思いました。もし自分だったら・・・と考えると、胸がとても苦しくなりました。川本さんが見た孤児の話は、聞いていて、原爆投下する事でこんなに大人や子供がなんで何もしてないのに犠牲になったり、苦しまないといけないんだろうと思いました。今回話しに来てくださったおかげで、どんな事が起こったのかという事実を知ることができました。今日は本当にありがとうございました。（3年生）



皆さんの感想の中で一番多かったのは、孤児たちの悲惨な状況を聴き、当たり前と思って生活している今をもっと大切にしたいといった内容でした。この夏も、様々なメディアで戦争の悲惨さや平和の大切さが報道されます。関心を高くもって視聴し、中学生の自分たちにできることを考えてみましょう。